

これからは、一人で！

2013年1月20日和歌山県民大会（和歌山県田辺市）

毎年冬に続けて開催している和歌山県民大会。前に来たことのあるテレインでも、大会出場はやっぱりチャレンジ！

和泉市スキー野外活動部の中学生が感想を寄せてくれました。

■Bクラス1位 清水くん■

僕は去年も和歌山大会に参加しました。だから体力的にも簡単だと思っていました。

大会が始まると、いつもクラブの人と一緒に回ります。制限時間は30分。今回もクラブの人について行っただけで1位を取ってしまいました。

恥ずかしいので、これからは一人で大会を頑張ります。

■Bクラス2位 兵坂くん■

僕は去年も和歌山大会に行ったことがあるので、だいたい場所はわかっていました。

意外とタイムが短かったけど、2位だったので良かったです。

■引率の横田さん■

タイムオーバーしても、全部を回るとつもりでしたが、137で通り過ぎたのと139を飛ばしてしまったのとで、意気消沈。惜しくも3つを取り残してフィニッシュ。やはり走力がついていないですね。

■初心者にはスコア0■

ロゲイニングの開催が多くなったせいか、スコア形式が身近になっていきます。

とにかく見つけたコントロールをパンチしてくれば得点になるので、全部・順番通りにまわらなければなら

いポイントオリエンテーリングの場合と違って、失格がありません。

一斉スタートの場合が多いので、グループの経験はあるが、個人クラスで走るのは初めてという場合も、スタートのときはバックになっていても問題ないので、一人で走ることのきっかけとしていいと思います。

Bクラス1位の生徒さんも「これからは一人で大会を頑張ります。」と書いてくれています。こんな形で個人のポイント0形式へ進んでいけると理想的ですね。

また、ポイント0形式の場合だと、上位の参加者と下位の参加者のタイムが3~4倍になることも多いのに対して、スコア形式では、参加者のほぼ全員が制限時間内にフィニッシュします。このため、イベントの進行が予想しやすく、また、時間的にコンパクトなものにしやすいという利点があります。

(楠見 耕介)

